

川崎市公文書館だより

~Kawasaki City Archives News~



KAWASAKI CITY

復刊第1号（通巻11号）

発行日 平成20年6月25日



緑のカーテン（オオイタビ）をまとった川崎市公文書館
（府中街道側バス停市営等々カグランド入口より）

発行 川崎市公文書館

いま 現在 注目される公文書館！！

公文書館、英語ではアーカイブス（施設も、中の資料もアーカイブス）。わが国では、あまり馴染みがありません。しかし他の国では、図書館・博物館と並ぶ3大文化施設です。主要な目的の1つは、役所で作成した文書（公文書）の保管になります。これは市民の皆さんの権利を守るのに役立ちます。

「年金記録」や「薬害肝炎」の問題が起きたのは、日本の公文書館制度が遅れているためだともいわれています。川崎市公文書館は、昭和59年10月に統合的な情報公開を進める施設として設置されました。最近では川崎市の公文書の保存・保管の取扱（中間書庫機能）について参考にしたいと、全国の市町村・大学の専門家による見学が急増し、うれしい事態となっています。

しかし、公文書館の目的からいえば、100人の専門家より1人の市民に利用していただく方がもっとうれしいことなのです。その思いで、今回10年ぶりに「川崎市公文書館だより」を復刊しました。

これから、公文書館の仕事や所蔵する文書・資料類をはじめ、さまざまな情報をこの「川崎市公文書館だより」で発信していきます。

ここで表紙の写真を見て下さい。

府中街道沿から見た当館です。右下のオブジェは60。川崎市制60周年記念に当館が建てられたことを表しています。建物はイチヂクの仲間オオイタビにおおわれ、TVドラマのロケにも使われています。

ぜひ一度、等々力緑地にある公文書館にお立ち寄りください。



「 1階 書庫 」



「 展示コーナー 」

特集 川崎大空襲戦災記録写真展

毎年川崎大空襲があった4月15日に合わせて行われている「川崎大空襲戦災記録写真展」が、今年も3月26日から5月6日の七週間にわたって川崎市中原区にある川崎市平和館で開催されました。今年は、公文書館も平和館との共催というかたちで展示を行いました。

1942年（昭和17）4月18日、日本は初めての空襲を受けました。それは川崎市にとっても最初の空襲でした。その後、1944年（昭和19）11月からB29による空襲が全国に及び、東京大空襲の約一ヵ月後、1945年（昭和20）4月15日夜、来襲機約200機によって、川崎のまちは川崎駅から海岸の工場地帯まで一望できてしまう焼け野原と化してしまいました。この時の被害は、全半焼壊家屋33,361戸、同工場など287、罹災者は10万人を超え、約20回あった川崎空襲被害の大半を占めるものでした。

今回の展示で、公文書館から「防空訓練をする市民」「B29の戦略爆撃」など戦災の実態や被害の状況を写した写真パネル48点、『昭和8年（1933）6月防空演習ニ関スル書類』などの簿冊4点、「川崎空襲の罹災地域」の地図1点、その他「海軍志願兵の栞」「戦中チラシ」など複製パネル22点、合わせて74点を紹介しました。

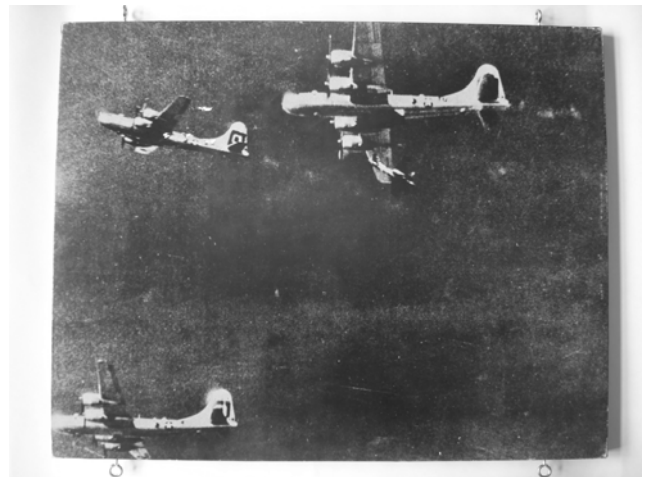
大空襲から今年で63年が経った今、悲惨な戦災の記憶は時の流れとともに希薄化しています。今日の平和が当たり前ではないこと、その影には、戦災によって多くの人が犠牲になり苦しんだことを私たちは忘れてはいけません。

今回の展示に足を運んでくださった方々が、戦災の記録に触れ、何かを感じとり、持ち帰っていただけたら、開催者としてうれしい限りです。また、少しでも後世に伝えていく手助けになっていければと切に願います。

今回の展示で紹介した写真パネル（一部）

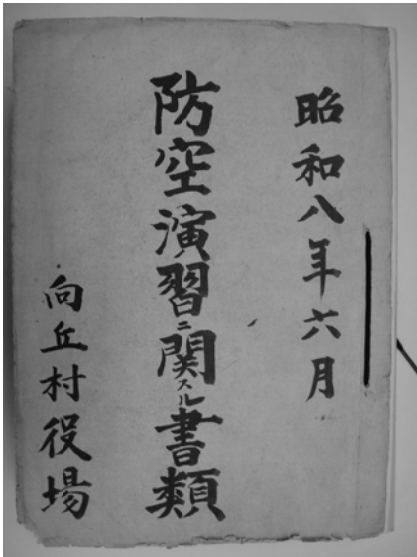


「防空訓練をする市民」



「B29の戦略爆撃」

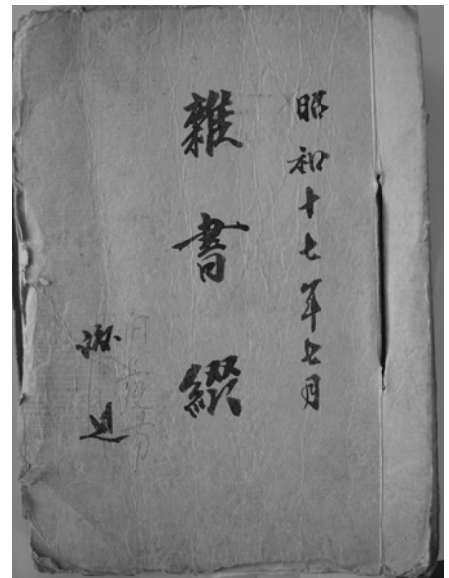
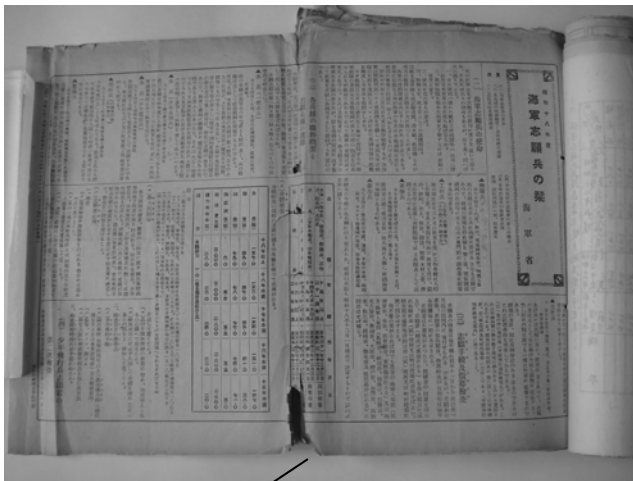
今回の展示で紹介した公文書（一部）



『昭和八年六月 防空演習ニ関スル書類』

旧向丘村役場が作成保管していた簿冊です。簿冊とは、関連する公文書を綴ったものです。満州事変により日本が国際連盟を脱退した8年（1933）の8月に、関東一円で行われた防空演習の際、向丘村が収受・発信した書類等が収録されています。見開きの右は使われた徽章の実物、左は村内で組織された警報・防空監視等の班についての冊子の表紙です。

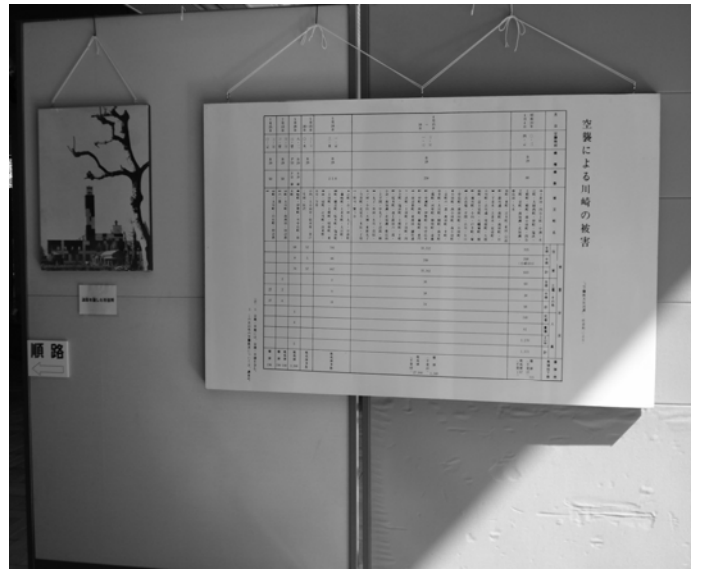
「海軍志願兵の葉」



『昭和十七年七月 雑書綴』

昭和17年（1942）に旧向丘村役場が収受・発信した公文書のうち、他に分類されない雑文書を集めた簿冊です。とはいえ、太平洋戦争開始の翌年だけに戦争関連の書類が多く収録されており、見開きの「海軍志願兵の葉」もその一つです。

◆◇ 終 了 報 告 ◇◆



戦争被害の悲惨さ、平和の尊さを考えると共に、記録を保存することの大切さを伝えようと開催された公文書館・平和館共催の「川崎大空襲戦災記録写真展」は、5月6日をもって無事終了することができました。

戦争を知らない世代はもちろんのこと、実際に戦争を目の当たりにし体験した世代も多く来場していただき、開催期間中の入館者数は9,253人！！そのうち、155人からアンケートに回答をいただきました。

幅広い世代の方々が、戦災に関する記録、写真、映像を見て、それぞれに何を思ったのか、今回の「川崎市公文書館だより」では、回答いただいたアンケートの一部をご紹介します。



あなたの性別は？	
男性	81人 (52.3%)
女性	67人 (43.2%)
無回答	7人 (4.5%)

あなたの年齢は？ (ベスト3)	
71歳以上	38人 (24.5%)
61歳～70歳	36人 (23.2%)
11歳～15歳	18人 (11.6%)



今回の展示に来場していただいたのは、実際に戦争を体験した方や見聞きする機会の多かった世代の方でした。
戦争の体験談など、聞く機会の少ない若者にも、もっと当時のことを知ってもらいたいですね…。

あなたのお住まいは？(ベスト3)

中原区	68人 (43.9%)
幸区	16人 (10.3%)
横浜市内	15人 (9.7%)

平和館が中原区にあるだけに、やはり中原区民がダントツだ～。
でもね、でもね、北は北海道、南は沖縄の人まで来てくれたんだよ！！
平和への思いは、どこに住んでいてもかわらないんだね。



「川崎大空襲戦災記録写真展」を何で知りましたか？(複数回数)

平和館に来て	43人 (27.7%)
市政だより	34人 (21.9%)
平和公園に遊びに来て	32人 (20.6%)

来館された動機は？(複数回数)

戦争の悲惨を知り、平和について考えるため	85人 (54.8%)
その他	58人 (37.4%)
公文書等の記録に関心があるので	18人 (11.6%)
無回答	8人 (5.2%)

平和でありたい、と願う気持ちはみんな同じ。
その他の意見では、
「お花見に来て」
「川崎の歴史を調べに」
「ちょうど平和館の前を通り、気になったから」
など、展示のことを知らずに訪れた人も。



中には「(課外授業として)強制」なんて学生さんもいたなあ。
強制でも、過去を知ることは大切なこと。そして、戦争の悲惨さを知って、もしも自分がこの時代に生きていたら…どんなに大変だっただろうと、考え感じてくれるきっかけになればうれしいね。



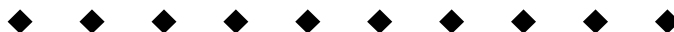
「川崎大空襲戦災記録写真展」のご意見・ご感想

- ・私たちは今、社会の授業で戦争のことを教わりました。思っていた以上に悲惨なことを知り、とても悲しくなりました。これからも、この悲しい悲劇を忘れないようにしていきたいです。(11歳～15歳 女性)
- ・川崎になぜ平和公園があるのだろうと思っていた謎がとけました。平和を伝えていくためにも、このような展示は大切だと思います。(21歳～30歳 女性)
- ・今回、子供と一緒に来ました。当時の悲惨な状況をVTRや写真で見て、よく分かり勉強になりました。(31歳～40歳 男性)
- ・過去の戦争の悲惨さを知り、現在、平和に過ごせることに感謝する気持ちを他の方々も感じてほしいです。(41歳～50歳 男性)
- ・是非、一層の充実とさらなる保存への努力に、感謝とご精進されることを望みます。(51歳～60歳 男性)
- ・写真の説明をもう少し具体的に示してほしい。(61歳～70歳 男性)
- ・記録写真展がなければ忘れられてしまいます。ぜひ、来年も開催して下さい。公文書館の利用の仕方なども展示したら良いですね。(71歳以上 女性)

その他、たくさんのご意見、ご感想をいただき、ありがとうございました！！



来年も「川崎大空襲戦災記録写真展」の開催を予定しています。
次回はより一層多くの方に関心をもっていただけるような展示を目指していきます。



関連図書のご案内

『川崎空襲・戦災の記録』 戦時下の生活の記録編	2,000円
『川崎空襲・戦災の記録』資料編	2,500円
『川崎空襲・戦災の記録』ダイジェスト編	780円

販売場所

川崎市役所本庁舎売店 川崎市役所第三庁舎売店
川崎市民ミュージアム売店 川崎市公文書館

利用案内

◇開館時間

午前8時30分から午後5時まで

◇休館日

毎週月曜日

国民の祝日（国民の祝日が月曜日の場合は翌日）

年末年始（12月29日から1月3日まで）

◇利用方法

市政資料室に置いてある資料は自由にご閲覧いただけます。それ以外の資料は、目録で検索し、事務室に申し出てください。ただし、資料の外部への持ち出しはできません。

資料等の複写サービスは、館内のコピー機がご利用いただけます。（実費をいただきます。）

公文書の閲覧については、情報公開制度によりおこないます。

◇交通のご案内

【バスの場合】

- JR南武線・東急東横線「武蔵小杉駅」下車

小杉駅バスターミナルから市バス・東急バスで「市営等々カグランド入口」下車

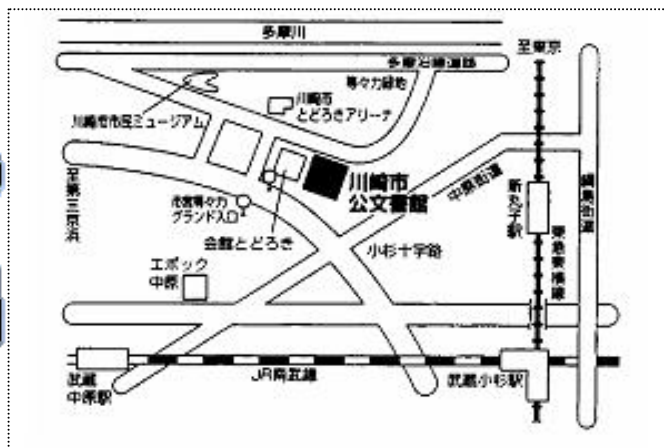
- JR南武線「武蔵溝ノ口駅」・東急田園都市線「溝の口駅」下車

駅前（北口）から市バス・東急バスで「市営等々カグランド入口」下車

【徒歩の場合】

- JR南武線「武蔵中原駅」から約15分・「武蔵小杉駅」から約20分

- 東急東横線「新丸子駅」から約15分・「武蔵小杉駅」から約20分



お問い合わせ

川崎市公文書館

〒211-0051 川崎市中原区宮内4-1-1

電話 044-733-3933

FAX 044-733-2400

E-mail 16koubun@city.kawasaki.jp

ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/16/16koubun>

◆◆ホームページは7月1日にリニューアルする予定です◆◆